

# ミニード力戦時轉住所自治憲章

序

文

亞米利加合衆國ノ憲法ヲ支持擁護シ國家ノ諸政策ニ效果的ニ貢献シ民主々義的  
諸元則ヲ保持シ一般福利ノ増進ヲ圖リ恵和静謐ヲ確保スルト共ニ所内ノ安寧秩  
序ヲ維持シ凡ユル事件及ヒ事務ヲ有效適切ニ處理シ且我々ノ所爲及ヒ活動ヲ有  
竟義ナルモノタラシノンカタメ統一的社會ヲ建設スル目的ヲ以テ我々ミニードカ  
戰時轉住所居住民ハ所長ノ告示ニ基キ茲ニ自治憲章ヲ制定確立ス

## 第一 章 組織

第一條 居住民評議會ハミニードカ戰時轉住所居住民ニ依テ選舉セラレタル評議員  
(ヲ以テ組織ス)

### 第二 章 権限 及ビ 職務

第一條 居住民評議會ハ其權限ヲ以テ左ノ諸事項ヲ行フ  
一、評議會ノ秩序及び規律ニ關スル規則ヲ定ム  
二、所長ニ提出スヘキ決議又ハ建議ヲ採擇シ且其決議又ハ建議ニ關シテ所長  
ト交渉ヲ行フ  
三、評議會ノ權能及ヒ職責遂行上必要ナル各種委員會ヲ設定ス  
四、各委員會ノ職務及び手續ニ關スル諸規則ヲ制定公布ス  
五、選舉有資格者中ヨリ任命セラレタル委員ヲ以テ調停委員會ヲ組織ス調  
停委員會ハ評議會居シクハ所長又ハ右兩者ノ承認ヲ得テ委任セラレタ  
ル居住民間ノ爭議ヲ調停解決ス

### 第三 章

第一條 司法委員會ハ評議會ニ依テ任命セラレ且ツ所長ニ依テ認可セラレタル五  
名ノ委員ヲ以テ組織ス

### 第四 章

第一條 司法委員會ハ其助言又ハ忠告的資格ヲ以テ左ノ諸事項ヲ行フ  
一、司法委員會ハ秩序ト手續ニ關スル規則ヲ定ム  
二、安寧秩序ヲ維持スルニ必要適切ナル方策ニ關シテ評議會ニ建議ヲ行フ  
三、所長ニ依テ委任セラレタル特殊ノ安寧秩序ニ關スル事件ノ處分ニ關シ  
テ所長ニ勸告又ハ建議ヲ行フ

## 自治組織ニ關スル規程

### 第一章 居住民評議會

第一條 資格及ヒ任期  
居住民評議會ハ所内一般居住民中ヨリ選舉セラレタル評議員七名ヲ以テ  
組織ス  
評議員ハ其任期ヲ六箇月トシ本規程ノ定ムル處ニ從テ後任者が選舉セラ  
レ就任スルマテ在任ス  
評議員ハ正當ニ登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齢二十一歳若シク  
ハ二十一歳以上ノ者タルヘシ

### 會議及ヒ記録

評議會ハ少クトモ毎月一回常會ヲ開クヘシ  
評議會ハ所長ト協議ノ上常會ノ日時及ヒ場所ヲ定ム更ニ必要又ハ適當ト  
認ムル場合ニハ臨時會ヲ開クコトヲ得  
評議會ハ總テノ會議及其行為ニ關スル精確ナル記録ヲ取ラシメ其記録

## 第三條

## 役員

ノ一般所内居住民ノ縱覽ニ供スヘシ

評議會ハ評議員中ヨリ議長ヲ選擇ス

議長ハ評議會ノ総テノ會議ヲ主宰シ又総テノ儀式儀禮ニハ評議會長ノ資格ヲ以テ出席ス

議長ハ評議員トシテノ総テノ權限及ヒ職責ヲ保有ス但本規程ニ列舉セラレサル特殊ノ管理又ハ行政上ノ權能又ハ權力ヲ有セス

評議會ハ又評議員中ヨリ副議長一名ヲ選擇ス

副議長ハ議長ニ故障アル場合ニ其代理ヲ勤ム

所長ハ評議會ノ推薦ニ基キ公務書記一名及ヒ補佐書記一名ヲ任命ス

公務書記及補佐書記ハ孰レモ選舉有資格者タルヘシ

書記ノ權限及ヒ職勢ハ左ノ如シ

評議會ノ總テノ會議ニ關シテ通告ヲ發ス

評議會ノ議事ヲ記錄ス

所長ノ發シタル布告及ヒ規則ヲ公布ス

總テノ規則決議及ヒ建議ヲ特定ノ帳簿ニ精確ニ記錄シ署名ヲ以テ之ヲ確定ス

本規程又ハ評議會ニ依テ要求セラル、諸他ノ職勢ヲ行フ

欽眞

評議員カ恆久的轉住ノ意志ヲ以テ轉住所ヲ去リタル場合又ハ三箇月間連續シテ常會ニ缺席シタル場合ニハ評議會ハ缺員ヲ生シタルモノト見做シ直ニ其旨宣言シ宣言後二週間以内ニ其缺員ヲ補充入ヘシ

## 第一條 第二章 評議會調整委員會

評議會調整委員會ハ各區ヨリ一名死選舉セラレタル區委員（ブロック・コ

ミシヨナー）ヲ以テ組織ス

區委員ハ各区ノ選舉有資格者ニ依テ投セラレタル投票ノ最多數ヲ得タルモノタルヘシ

調整委員會委員ハ正當ニ登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齢二十一歳若クハ二十一歳以上ノ者タルヘシ委員ハ其任期ヲ六箇月トシ後任者カ選舉セラレ就任スルマテ在任ス

## 第二條 調整委員會ノ職勢

調整委員會委員ノ職勢ハ各区住民ノ一般福利及ヒ要求ニ關スルモノトス

委員ハ評議會ノ行為及行動ニ關シテ区住民ニ報告ヲ行フヘシ

調整委員會ハ評議會ヲ輔佐シ其支配ヲ受ク評議會ハ委員會ノ行為及運營ニ必要ナル諸規則ヲ制定公布ス

## 第三條 會議

調整委員會ハ少クトモ毎月一回評議會ノ指定セル日時及ヒ場所ニ於テ公開會議ヲ開クヘシ

## 第四條 役員

評議會議長ハ調整委員會ノ議長ヲ勤メ該委員會／凡チノ會議ヲ司會入又公務書記ハ調整委員會ノ書記ヲ務メ該委員會ノ議事ヲ精確ニ記錄ス

缺員

議長カ調整委員會ニ缺員ヲ生シタル旨宣言シタル時ハ評議會ハ其宣言ノアリタル日ヨリ一週間以内ニ缺員ヲ生シタル区ニ於テ臨時選舉ヲ施行シ

## 第五條

後任者ヲ選舉シテ缺員ヲ補充スヘシ

### 第一條 委員 第三章 司法委員會ノ設定

司法委員會ハ評議會ニ依テ任命セラレ且所長ニ依テ認可セラレタル委員五名ヲ以テ組織ス

評議員ハ司法委員會委員ヲ兼任スルコトヲ得ス  
司法委員會ハ少クトモ委員三名出席スルニ非レハ會議ヲ開コトヲ得ス  
委員會ハ委員中ヨリ議長ヲ選舉ス又必要ト認ムル場合ニハ其他ノ役員ヲ選舉スルコトヲ得

### 第二條 任期

司法委員會委員ハ其任期ヲ六箇月トシ後任者カ任命セラレ就任スルマテ在仕入

### 第三條 被告人ノ権利

所長ニ依テ司法委員會ニ委任セラレタル安寧秩序ニ關スル事件ニ於テハ被告ハ委員會ノ審理ヲ要求シ證人ヲ提供シ自己ノ選擇セル辯護人ヲ代理人トスル權利ヲ有ス

### 第四條 書記

公務書記ハ司法委員會ノ書記ヲ勤メ委員會ノ總テノ記録ニ關スル責任ヲ負フ

### 第五條 職務

司法委員會ハ所長ニ依テ委任セラレタル安寧秩序ニ關スル總テノ事件ヲ審理シ所長ニ對シ其等事件ノ處理ニ關シテ建議ヲ行フ  
司法委員會ハ又評議會ニ對シテミニドカ轉住所ノ安寧秩序ヲ維持スルニ必要適切ナル方策ニ關シテ適當ト思惟スル建議ヲ行フ

### 第四章 推薦及ヒ選舉

#### 第一條 選舉人ノ資格

ミニドカ轉住所居住民中年齢十八歳又ハ十八歳以上ニシテ適正ニ登録セラレタルモノハ本規程ニ基キテ施行セラル、總テノ選舉ニ投票ノ資格ヲ有ス

#### 第二條 役員ノ資格

リーヴ・クリアランスヲ取得セサル者ハ選舉又ハ任命ニ依ル如何ナル地位ニモ就クコトヲ得ス  
評議員ハ二十一歳若クハ二十一歳以上ノ者タラサルヘカラス但ニ二十一歳以下ノ者ト雖本規定ニ基キスハ所長ニ依テ設定セラレタル各種委員會及其他ノ任命ニ依ル地位又ハ職務ニ就クコトヲ得

#### 第三條 選舉ノ秘密

本規程ニ基キテ施行セラル、總テノ選舉ハ無記名投票ニ依ル

#### 第四條 選舉人ノ登録

總テノ所内居住選舉有資格者ハ登録セラルヘキモノトス  
登録ハ一年ヲ通シテ行ヒ得ルモノトス但選舉施行中ノ特定期間ハ之ヲ停止ス

總テノ登録ハ本人自身署名シテ行ハサルヘカラス

男女ノ別ナク十八歳又ハ十八歳以上ノ者カ登録ヲ申請シタル時ハ公務書記ハ申請者ノ當然ノ權利トシテ之ヲ登録セシム  
登録ノ効力ニ關シテ異議アル時ハ正式文書ヲ以テ公務書記ニ申出ツヘシ

## 第五條

其場合裁決ノ任ニ當ルモノハ評議會トス  
推 薦 會 議

各区ハ夫々二名ノ代表者ヲ推薦會議ニ出席セシムヘシ  
代表者ハ区内選舉有資格者中ヨリ選舉セラルヘキモノトス  
代表者ニ對シテ被推薦者ニ關スル特殊指示ヲ與フルヤ否マハ各区居住民  
ノ任意トス  
推薦會議ハ評議會ノ要求ニ應シテ開クレ少フトモ十名多クモ二十一名ヲ  
越エサル評議員候補者ヲ推薦ス  
各代表者ハ一名以上ノ候補者ヲ推薦ス  
推薦ハ口頭ヲ以テシ一名称ノ賛成者ヲ要ス  
公務書記ハ被推薦者ニ就キ立候補ノ諾否ヲ確ムヘシ  
若シ多數ノ人々カ適當ナル人物ヲ推薦ニ洩レタリト思惟スル場合ニハ所  
内全選舉有資格者ノ二分ノ請願ニ依テ之ヲ推薦スルコトヲ得  
被推薦者ノ被選舉資格ニ關シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得而シテ異議ノ申  
立アリタル時ハ評議會ハ之ヲ裁決ス

## 第六條 選 擧

通常選舉ハ年二回即チ二月ノ第一月曜日及八月ノ第一月曜日ニ之ヲ施行入  
選舉人ハ登録ヲ行ヒタル場所ニ於テ投票スヘキモノトス不在又ハ代理投  
票ヲ禁ス  
公務書記ハ所内選舉有資格者ニ依テ投セラレタル投票ノ過半數ヲ得タル  
候補者ヲ當選者ト宣言ス  
第一回通常選舉ニ於テ選舉セラレタル評議員ク定員數ニ達セサル時ハ公  
務書記ハ其旨評議會ニ通告ス其場合評議會ハ出來得ル限り速ニ臨時會ヲ  
開キ決選投票期日ヲ決定スヘシ  
決選投票ニ於テハ公務書記ハ第一回選舉ニ於テ當選者ト十ラサリシ者ノ  
中ヨリ得票ノ順位ニ依リ評議員不足數ノ二倍ノ候補者ヲ擧ケ決選投票ノ  
候補者ト宣言ス  
決選投票ハ一回ニ限ル而シテ決選投票ニ於テハ最多數ノ投票ヲ得タル者  
ヲ以テ當選者トス

## 第一條 第五章 發 案 及 ヒ 解 任

## 第二條

凡テノ選舉人ハ發案權ヲ行使シテ評議會ニ建議ヲコトヲ得  
發案請願ニハ所内全選舉有資格者五分ノ署名ヲ要ス  
請 願 形 式

請願ヲ提起スルモノハ自己カ請願ノ提起者タルコト及ヒ請願書ノ署名カ  
真正ナルモノタルコトヲ證明セサルヘカラス  
請願書ニハ請願委員トシテノ責任者少クトモ五名ノ署名ヲ要ス  
請願書ハ公務書記ニ提出セラルヘキモノトス公務書記ハ其請願書カ必要  
條件ヲ具備スルヤ否ヤニツキ證明ヲ行フ  
若シ公務書記カ請願書ニ不備ノ點アリト宣言シタル場合ニハ請願者八十  
日間ノ猶豫ヲ與ヘラレ其期間内ニ請願書ノ不備ノ點ヲ補正シ且必要トセ  
ラル、全選舉有資格者五分ノ署名ヲ得テ之ヲ差出スヘシ若シ然ラサル時  
ハ其請願ハ委棄セラルヘキモノトス  
請 願 書 日 附

第三條 最初ノ署名カ行ハレタル日ヲ以テ請願書ノ日附トス而シテ其日ヨリ起算

## 第四條

シテ六十日間以内ニ必要數ノ署名ヲ得サル時ハ請願書ハ無効トナモトス  
所内全選舉有資格者ノ一割ノ署名セル請願書ヲ以テ評議員又ハ委員ノ  
解任ヲ提案スルコトヲ得而シテ解任ノ可否ハ全選舉人ノ過半數投票ニ依  
テ決ス

## 第六章 滞 正

評議會及び評議會調整委員會ハ共同決議ニヨリ所長ノ許可ヲ經テ本組織  
規程ヲ修正スルコトヲ得

## 第一條

M. Fugio Hale

12-7-A

Judicial Commission

please recd and  
accept - please. + my

ニニドカ戰時轉住所居住民諸君

此自治憲章は、我々各区代表者並に組織委員等が、協心戮力、徹底的研究と討議を遂げて作成したものであります。本憲章の主要目的は、我等ミニドカ轉住所居住民の協和と一致とを確保し、且つ一般福利の増進を圖るために、居住民評議會を確立するにあるのであります。我々は本憲章を承認する事に依つて、真正なる、我等の代議機關を持ち得る事となるのであります。此信念と確信とを以て我々は今茲に、本憲章承認の可否を、諸君の投票に問はんとするものであります。

憲章承認賛否投票は、来る十二月二十八日を期して施行せらるることに決定されて居ります。當日は諸君が進んで投票権を行使し、賛否を表明せられん事を要望する次第であります。

一九四三年十一月十七日

各區代表者  
組織委員

區號	區名	代號	主姓	土名	名
第一區	舟久保政明	第一五區	磯村勝美	第三二區	中山克己
第二區	濱本義夫	第六區	木村久八	第三四區	丹原忠
第三區	牛駒貞彥	第七區	太田正成	第三五區	寺川湛濟
第四區	近田伊八	第九區	金谷敏次	第三六區	藤井義人
第五區	日野頼之	第二一區	菅原脩治	第三七區	秋山律治
第六區	岐部誠	第二二區	原島之進	第三八區	佐野福男
第七區	裏川義夫	第二四區	大澤茂	第三九區	青木龍男
第八區	細川節吾	第二六區	窪田藤太郎	第四〇區	徳田フロイド
第一〇區	勝山アリ	第二八區	廣兼壽一	第四一區	早津ジヨン
第一一區	藤富榮治	第二九三			
第一三區	山田健				
第一四區	朴本幾太郎				
第三一區	澄田次郎				

卷之三

譯	祖
譯委	織委
倉金員	藤湯秋員
岡谷	川山
慶敏	淳口
吉次	義二
次人郎	郎